令和５年度

若者の地域活動に関するアンケート調査
報告書

令和６年３月

札幌市　市民文化局　市民自治推進室

Ⅰ．アンケート実施について

１．調査期間　令和 5 年（2023 年）12 月～1 月

２．調査対象　札幌市内 18 歳～29 歳　3,000 人
（令和 5 年 12 月 6 日時点、無作為抽出）

３．調査方法　調査票の郵送及び WEB フォームによる回答

４．回収結果　709 件（回収率：23.6%）

（１）回収方法別

・紙調査票　371 件

・WEB 調査票　338 件

（２）区別

区分	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	無回答
回答数	100	122	93	77	39	78	28	41	78	44	9
回収率	23.8%	25.4%	22.1%	21.4%	26.0%	20.0%	23.3%	22.8%	26.0%	24.4%	0.0%

（３）性別比

区分	男性	女性	その他	無回答	合計
回答数	252	439	10	8	709
回答率	17.2%	28.5%	－	－	23.6%

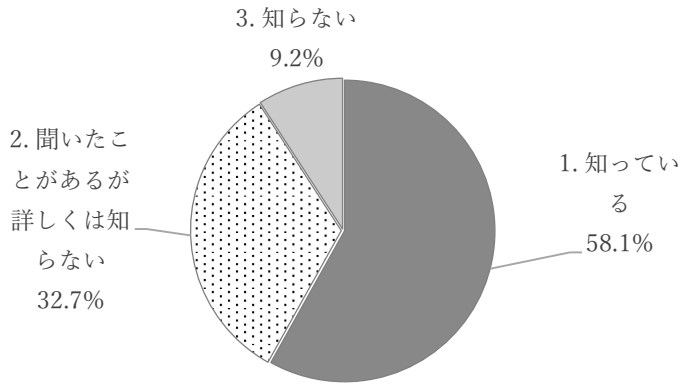
Ⅱ．調査結果

１． 集計結果

（１）町内会の認識について

問１　あなたは、「町内会」について知っていますか。

町内会について、「知っている」と回答したのが、58.1%で最も多くなっている。続いて「聞いたことがあるが詳しくは知らない」が 32.7%で多くなっている。



(n=709)

図1　町内会について

問 1-1　あなたが、町内会や地域活動と聞いて思い浮かぶのはどれですか。

回答総数 643 件に対し、「回覧板」と回答したのが、586 件で 91.1%、次いで「お祭り、盆踊り」が 439 件の 68.3%、「ラジオ体操」が 357 件の 55.5%、「ゴミステーションの管理」が 342 件の 53.2%、いずれも幼少期に体験した事項が多い。

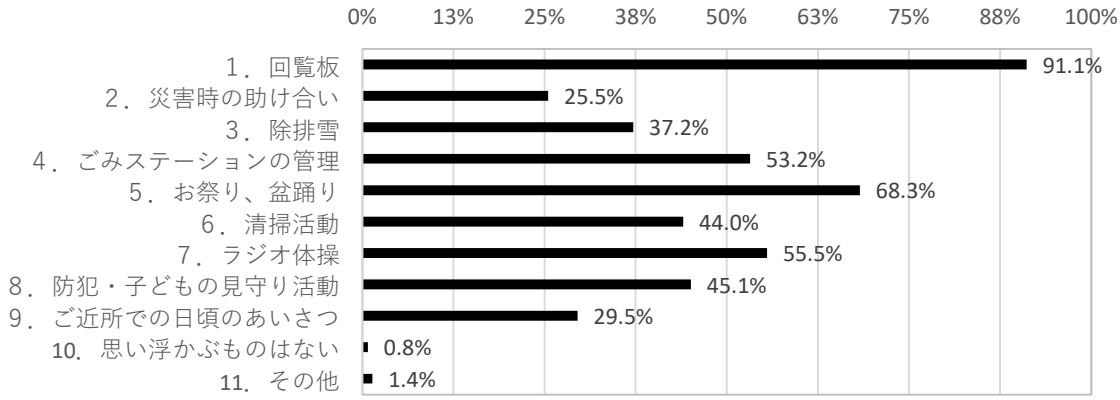


図2　町内会や地域活動のイメージ

(n=643)

問 1-2　あなたは、町内会は地域に必要であると思いますか。

回答総数 641 件に対し、「そう思う」、「どちらかというとそう思う」と回答したが、431 件の 67.3%を占め、「そう思わない」、「どちらかというとそう思わない」が 70 件の 10.9%であることから、必要という認識はある。

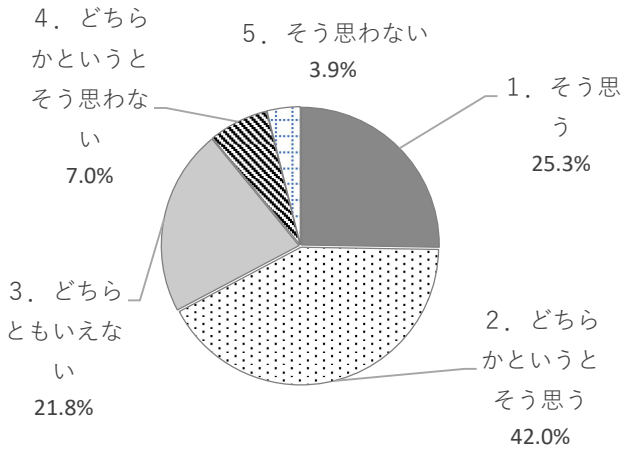


図3　町内会の必要性　(n=641)

問 1-3　あなたが、町内会が必要ないと思う理由についておたずねします。

回答総数 80 件に対し、「どのような活動をしているのかわからないため」と回答したのが、34 件の 42.5%と活動内容が不明な点と自身との結びつきがわからない若者が半数

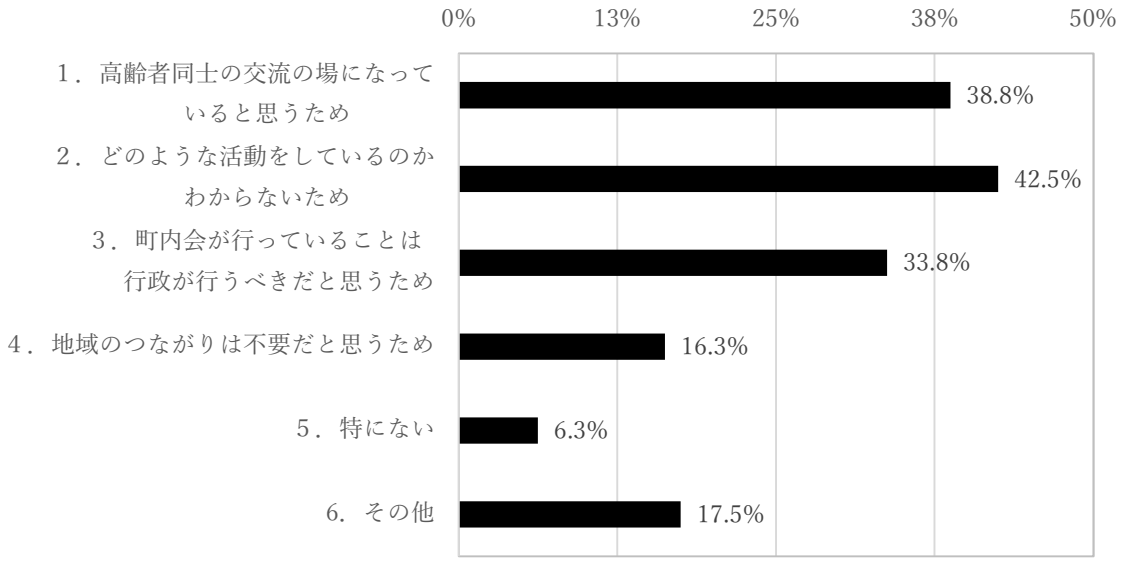


図4　不要な理由　(n=80)

（２）町内会への関心

問２　あなたは、町内会に加入していますか。

回答総数 708 件に対し、「加入している」と回答したのが 332 件の 46.9%、「加入していない」が 198 件の 28.0%、「わからない」が 178 件の 25.1%となっている。

特に、「わからない」と回答した 178 件を、お住まいの形態別で算出すると、「集合住宅（アパート、マンション等)」が 155 件の 87.1%、「戸建て住宅」が 21 件の 11.8%で、集合住宅にお住まいの回答者の町内会加入状況についての認識が極めて低いとみられる。

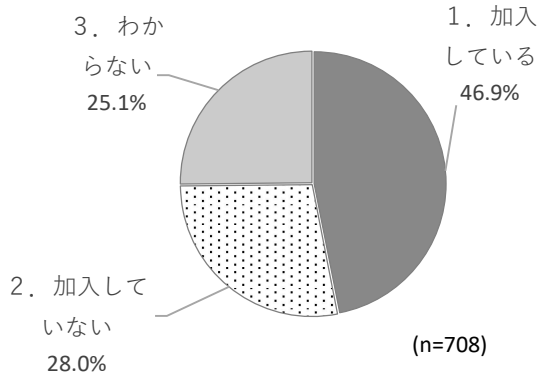


図5　町内会の加入について

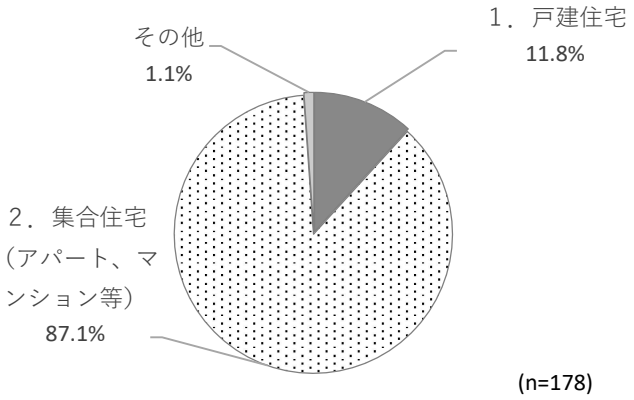


図6　「わからない」と答えた方のお住まい

問３　あなたが、町内会や地域の情報を受け取りやすい方法はどれですか。

「広報さっぽろ」と回答したのが、34.8%、「チラシ等の郵便物」が 29.8%と需要が見込まれるのと、「X（旧 Twitter)」、「Instagram」、「LINE」といった若者の SNS の活用もそれぞれ 24.6%、21.1%、33.9%となっており、紙による周知と SNS を活用した周知の並行の採用が大きなポイントと見られる。

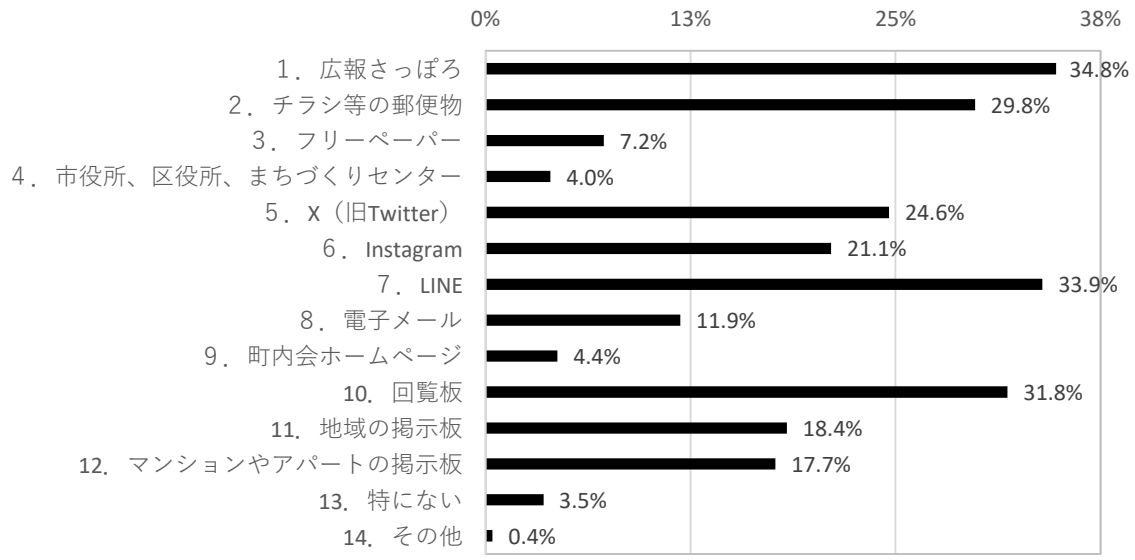


図7　情報取得方法について　（n=707）

問 4　あなたは、地域活動に協力したいと思いますか。

回答総数 709 件に対し、「協力したい」と回答したのが、227 件の 32%、「協力したくない」が 166 件の 23.4%、「分からない」が 316 件の 44.6%を占め、「わからない」と答えた回答者の参加を促進することで、協力したいと思わせる活動内容や周知方法に注力が必要と見られる。

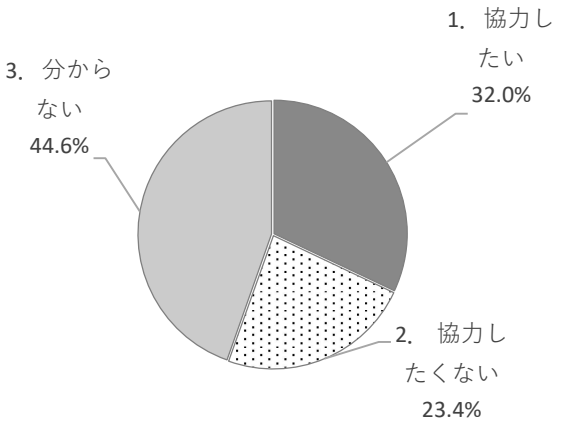
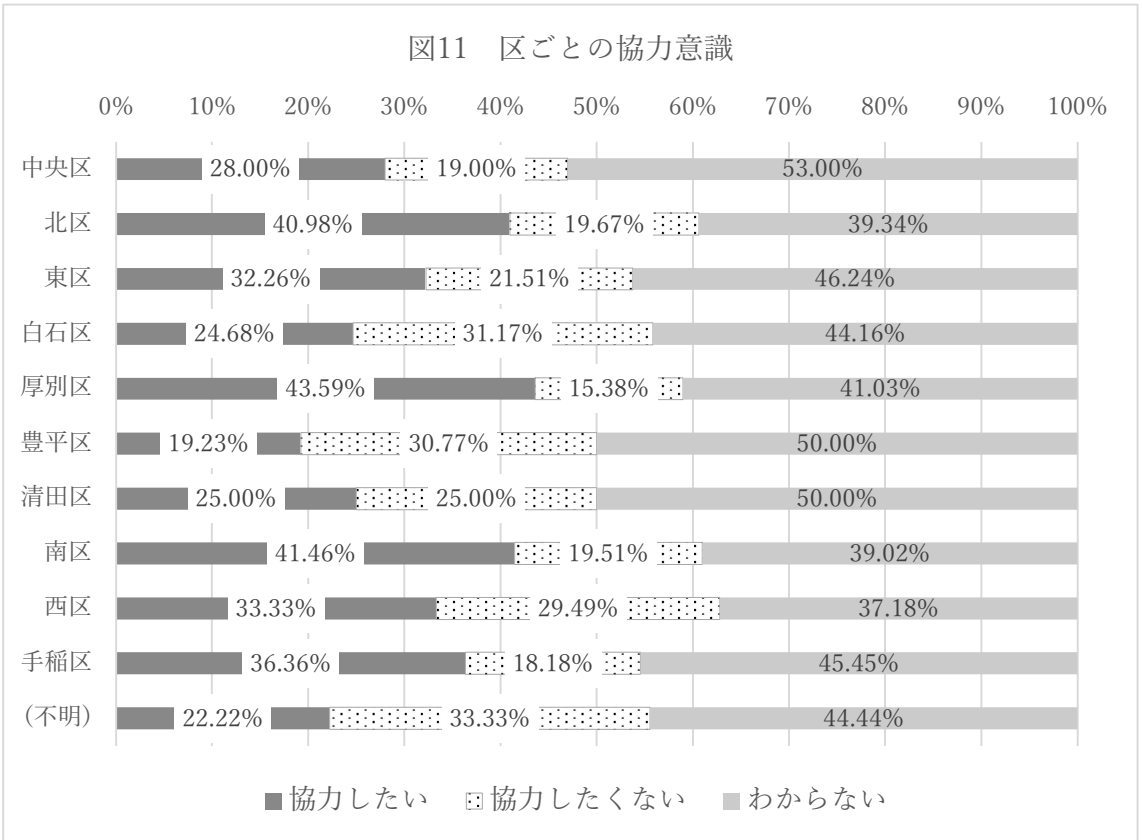


図8　地域活動について　(n=709)

尚、上記設問に対し市内 10 区ごとに分析をした結果、「協力したい」と回答したのが、一番高い区は厚別区の 43.5%、「協力したくない」が一番高い区は白石区の 31.1%であった。



問 4-1　あなたは、どのような内容であれば地域活動に協力したいですか。

回答総数 230 件に対し、「時間があるときや可能な範囲で協力したい」と回答したのが 76.1%、「自分の興味のある分野であれば協力したい」が 50.0%、「きっかけがあれば協力したい」が 41.3%となっており、合計で 385 件の回答があったため、時間的な余裕や活動内容によっては決して非協力的な回答ではない。

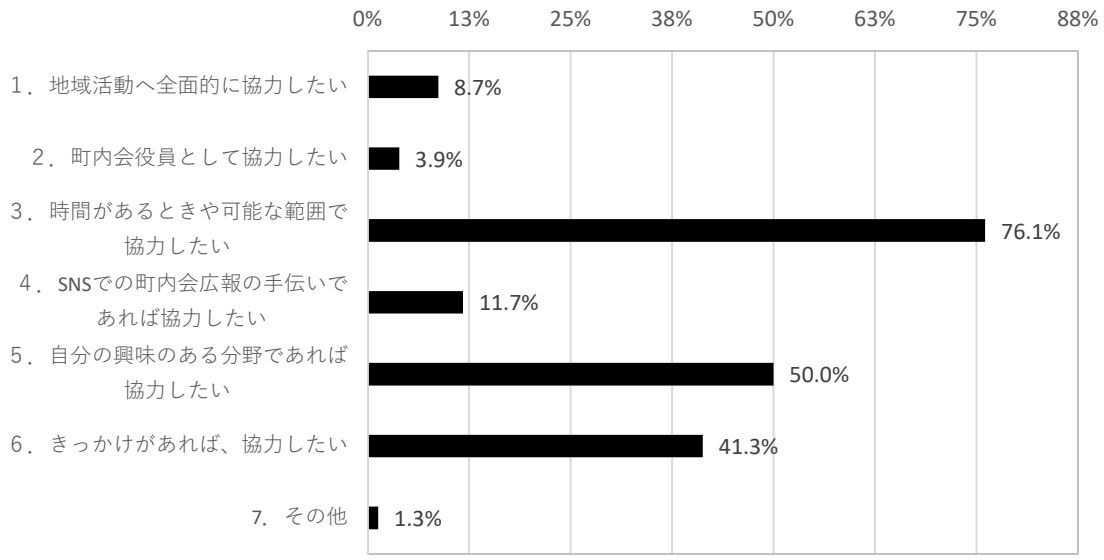


図9　地域活動への協力手段　(n=230)

問 4-2　あなたが、地域活動に協力したくない理由についておたずねします。

「いつどのような活動が行われているか知らない」と回答したのが 57.4%、「自分の仕事、用事が優先だから」が 54.5%、「地域活動に協力する時間がない」が 50.4%、続いて「活動の時間があわない」が 34.1%となっている。若者に対する活動内容の広報と同時に若者も参加しやすい時間帯の設定が必要とみられる。

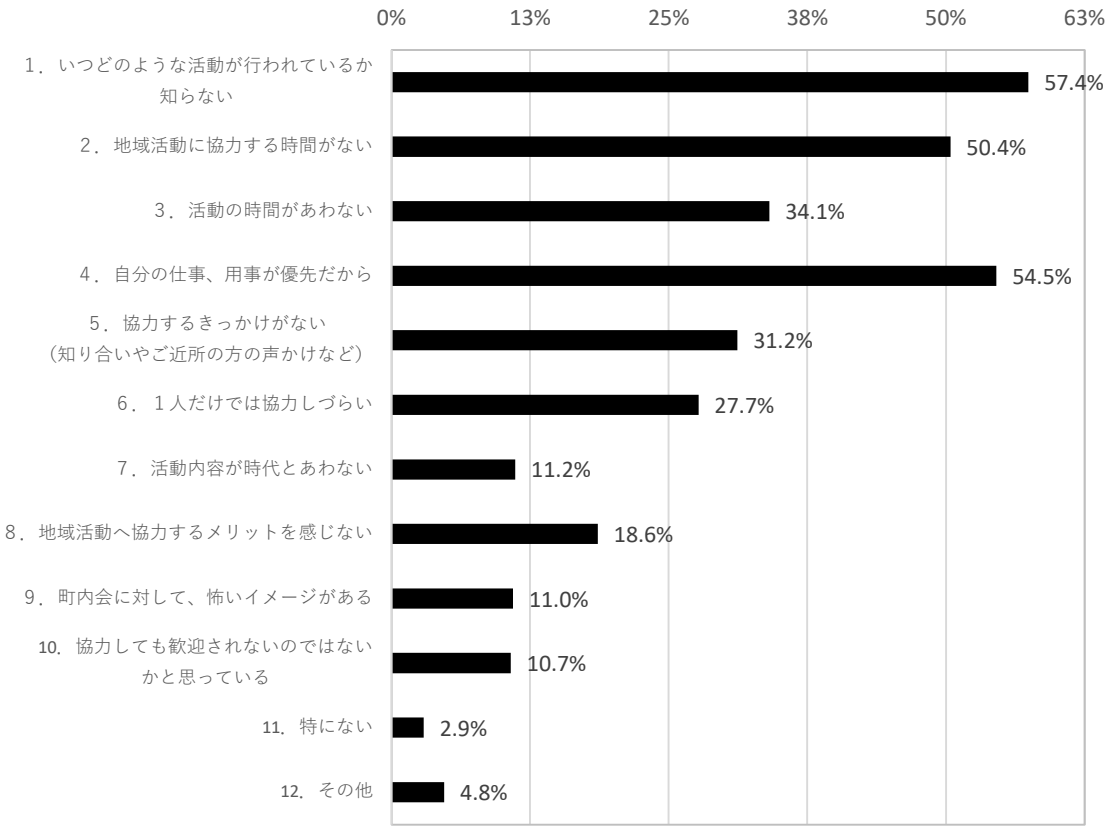


図10　地域活動へ協力しない理由　(n=484)

問５　あなたは、どんな分野の地域活動であれば協力してみたいと思いますか。

回答総数 706 件の内、「地域のお祭りの準備運営」が 29.0％で一番多く、「ご高齢の方の除雪の手伝い」が 26.8％、「公園や道路の清掃活動」26.3％となっている。その他の意見として、外国人住民の支援・交流活動への協力、介護保険制度の使い方・説明等のような個人の専門分野を生かせる活動を求める意見もあった。

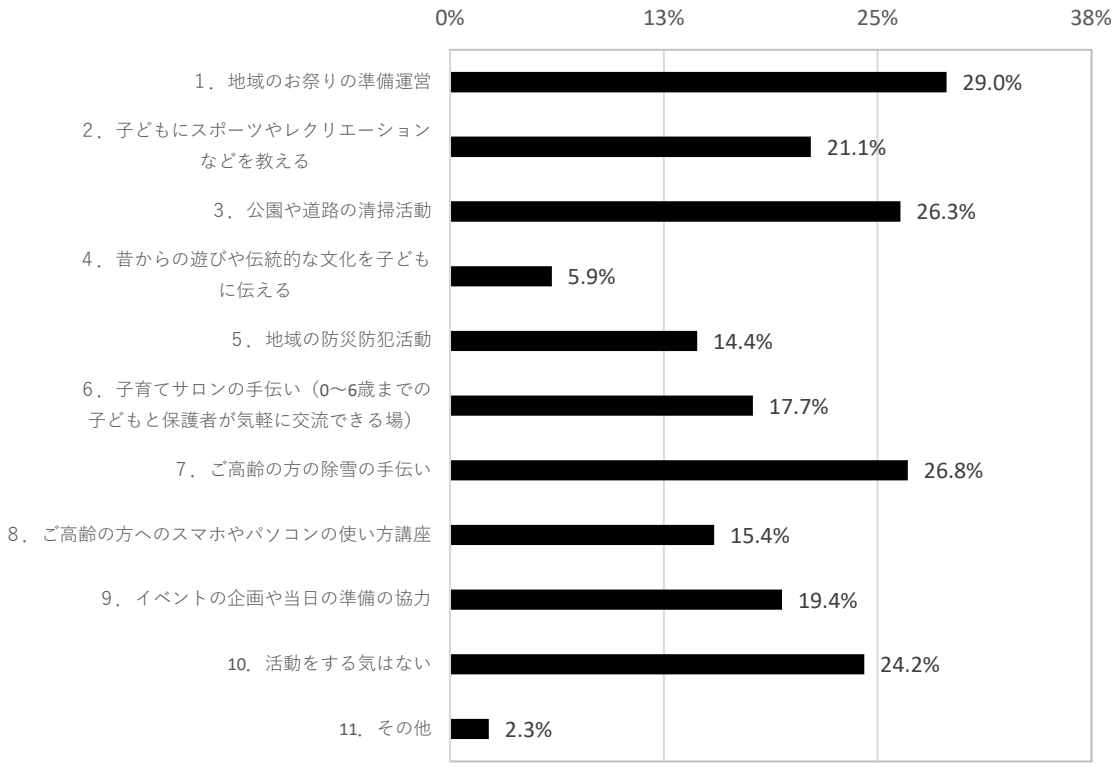


図12　協力したい分野　　(n=706)

（３）町内会への参加メリット

問６　あなたは、どのようなメリット（もの）があれば地域活動に協力したいと思いますか。

回答総数 708 件の内、「金銭的報酬」が 55.8%、「クーポン券など」が 48.8%、「札幌市指定ごみ袋」が 43.2%等、金銭的な報酬だと即効性があるとみられる。続いて、「新たなつながりや人脈の拡大」が 28.7%、「将来のため地域の人と関わる経験」が 22.3%となっていることから、町内会を通して近所との交流を望んでいる若者も多くみられる。

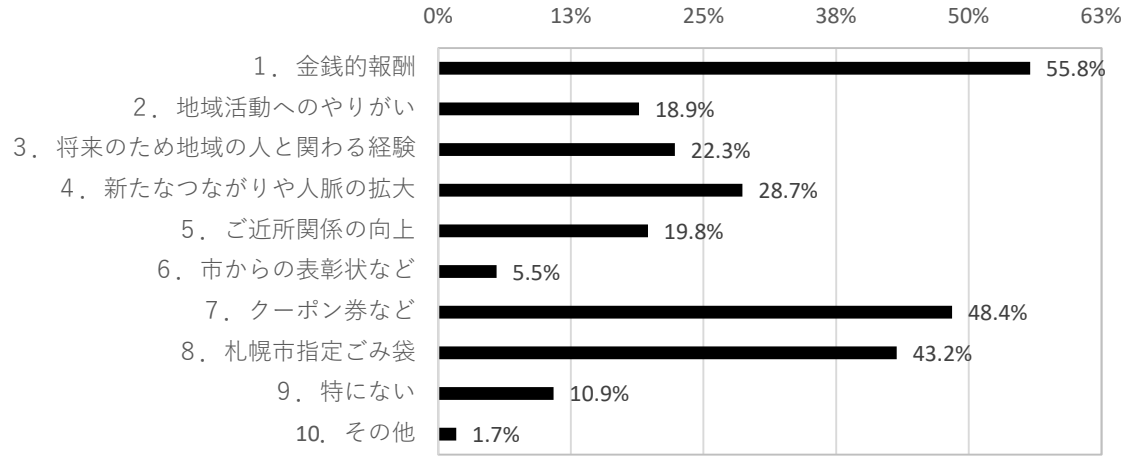


図13　協力するためのメリット

（n=708）

問 6-1　あなたが、地域活動に協力するにあたって必要とする金銭的報酬の考え方に、近いのはどちらですか。

回答総数 419 件のうち、「交通費とは別に謝礼が必要」と回答したのが 66.8%、「交通費相当分のみ」が 33.2%となっている。

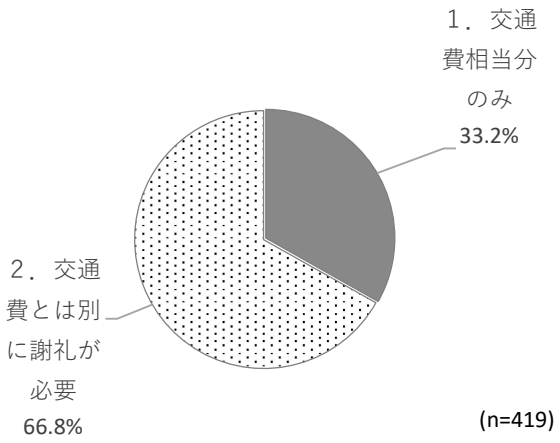


図14　金銭的報酬の内容

問 6-2　あなたが考える地域活動に協力するために必要な謝礼金額は、どれですか。

回答総数 289 件の内、「1,000 円」が 45.0%、「2,500 円」が 17.3%となっている。尚、「1,000 円」と回答した 45.0%のうち、「問４　あなたは、地域活動に協力したいと思いますか。」の設問に対し、「協力したくない」と回答したのが 27.7%だったことに対し、「2,500 円」と回答した 17.3%のうち、地域活動に「協力したくない」と答えた比率が 42.0%だった。

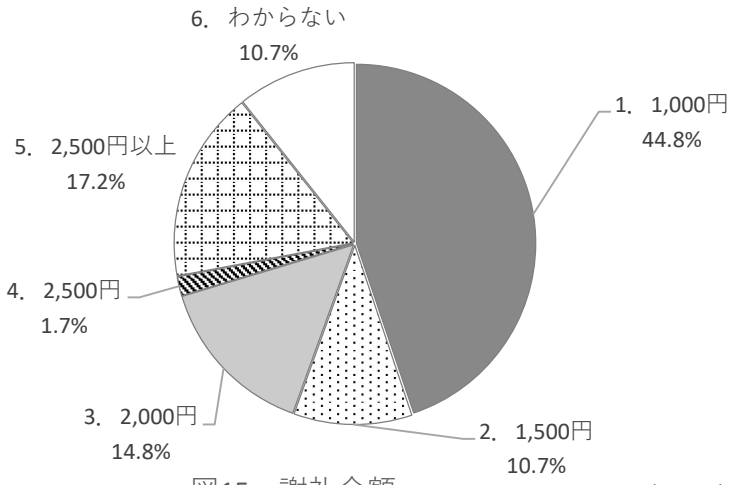


図15　謝礼金額　(n=289)

（4）地域活動参加に関する動向について

問 7　あなたが、もし地域活動に協力するとした場合に参加しやすい時期はいつですか。

回答総数707に対し、参加しやすい時期が「分からない」と回答したのが50.6%、続いて「8月」「9月」がそれぞれ27.3%、25.2%で多く、「12月」「1月」はそれぞれ8.2%、8.9%で参加意向が少ない。

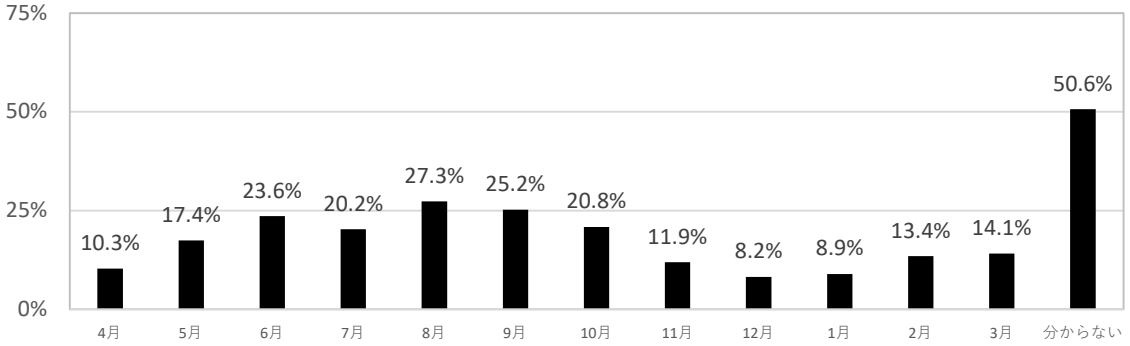
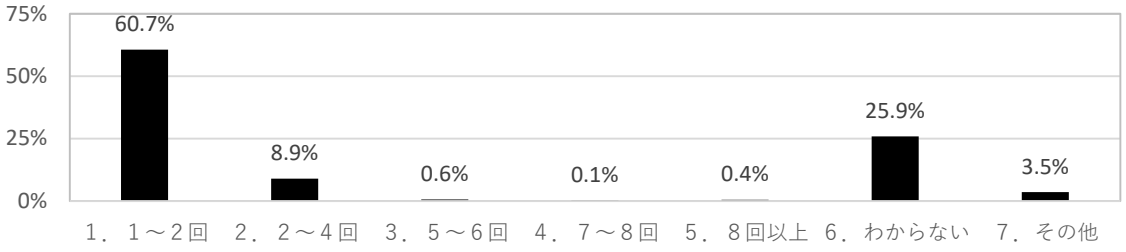


図16　参加しやすい時期　(n=707)

問 8　あなたが、もし地域活動に協力するとした場合に 1 カ月のうちに協力できると思う回数はどのくらいですか。

回答総数 707 件に対し、月に「1～2 回」と回答したのが 60.7%で一番多く、続いて「分からない」が 25.9%を占めている。「5 回以上」は 1.1%となっている。



(n=708)

図17　参加回数

問 9　あなたが、もし地域活動に協力するとした場合に１回あたりに協力できる時間はどのくらいですか。

回答総数 708 件に対し、1 回あたり「2 時間」と回答したのが 29.8%、「分からない」が 23.9%、「1 時間」が 23.0%となっている。その他の意見としては、「時間に縛られなく、リモートワークの様に自由な参加」との意見もあった。

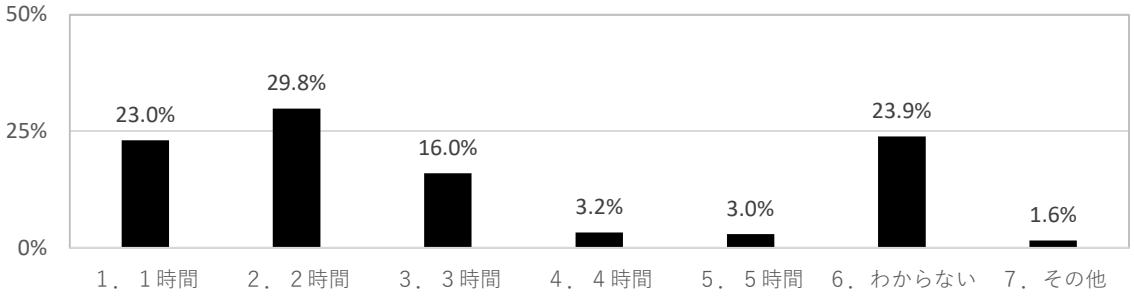
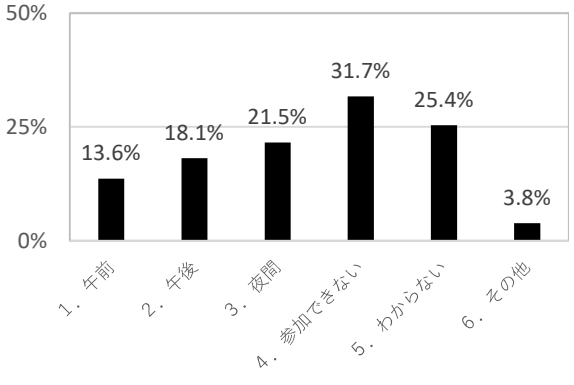


図18　協力可能時間　(n=708)

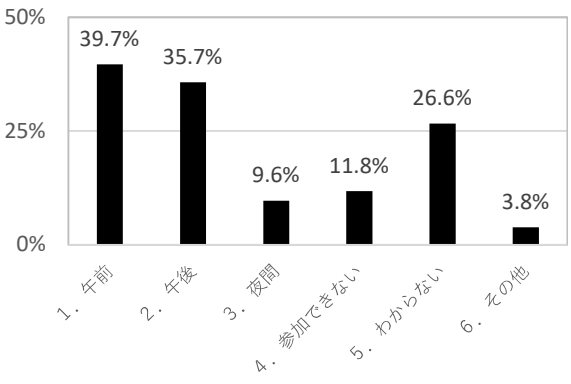
問 10　あなたが、もし地域活動に協力する場合に参加しやすい曜日や時間帯はいつですか。

回答総数 706 件に対し、【平日】は「参加できない」が 31.7%、「分からない」が 25.4%、「夜間」が 21.5%となっている。【土日祝日】の場合は「午前」が 39.7%、「午後」が 35.7%、「分からない」が 26.6%となっている。



(n=706)

図19　協力可能時間帯（平日）



(n=706)

図20　協力可能時間帯（土日祝）

問 11　あなたは、どのような募集方法であれば、地域活動に協力しやすいですか。

回答総数 706 件に対し、「広報さっぽろやチラシ等での募集」が 32.0%、「回覧板での募集」が 30.0%、「札幌市役所の公式 SNS を通じた募集」が 29.9%、「学校・職場へのチラシ配架やポスター掲示での募集」が 24.6%で、「各区役所の窓口を通じた募集」が 4.4%で一番少ない。

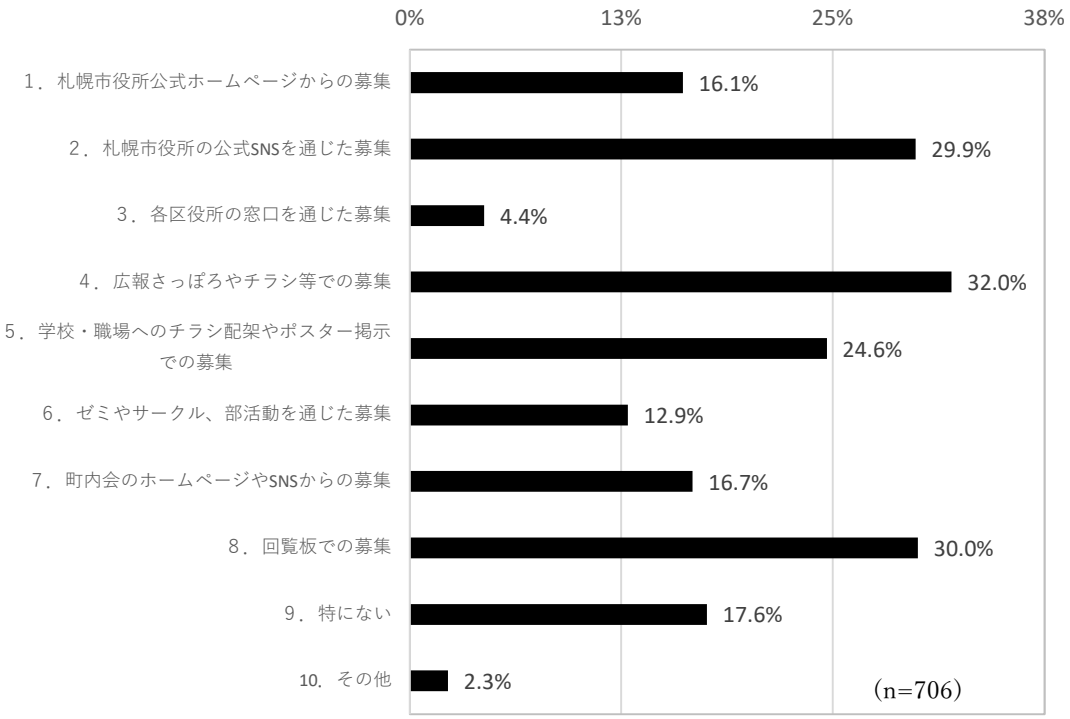


図21　効果的な募集方法

（５）自由記載

問 12　地域活動や町内会に関するご意見やご提案がございましたら、次の回答欄にご自由にお書きください。

合計は 158 人から 208 件の意見があり、記載内容として、「町内会への要望」が 44.3%で一番多く、続いて、「仕組みやシステム案について」の意見が 31.0%、「札幌市への要望」が 24.7%であった。

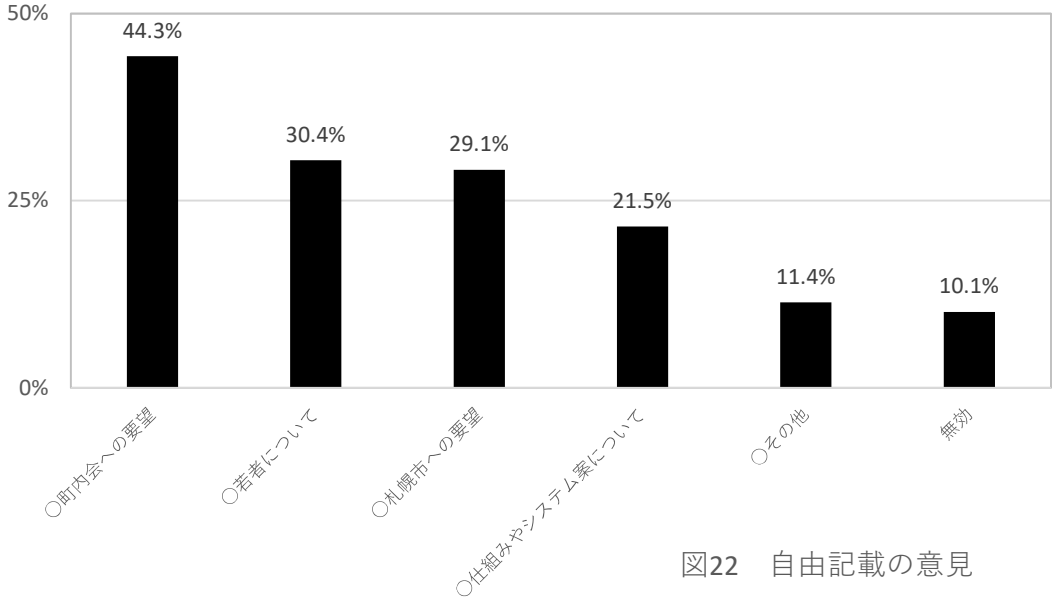


図22　自由記載の意見

自由記載の主な意見

≪町内会への要望　69 件≫

・町内会費を払っているが、何に使われているのかわからない。払っている人たちにどのように使ってほしいか、きいた方が良いと思う。どこかに「何に使われているか」がのっているのかわからないので、色々な人々が目につくよう工夫してほしい。
・町内会での活動内容について郵便物等で知らせが来ると、活動により理解が深まると思う。
・どんな活動をしているのか。ポップな感じで YouTube などに動画を出して若者に紹介すると気になって開くかもしれません。
・実際に暮らしていて、情報が手元まで届かないということが多いと感じる。ゆえに、参加・不参加は別として、情報が手元まで来ていただければすごく助かるというのが正直なところです。また、子ども食堂などそういった場があると年齢的にも気持ち的にも参加しやすいかなと思う。

≪若者について　36 件≫

・同年代で関わる時間が欲しい。コロナで人とのつながりがうすくなったため、もっと関わりたい。
・学生で、平日よりも休日の方が参加しやすい。学校や学生が多く通る場所等に募集の広告などを掲示するなら、学生が行きやすい平日夜か休日のイベントを多くすると、より集まりやすいのではないかと思う。
・高齢者が多いので、価値観が合わず参加しづらい。柔軟性を持った方々とであれば活動したい。
・これを機に地域活動や町内会に参加したいと思うが、意識せずに生活していたら町内会等の情報は全く入ってこないと思う。SNS を活用して、ライトで目に付くような募集、活動アピール等があれば敷居が高いイメージもなくなり、皆が参加しやすくなると思う。

≪札幌市への要望　49 件≫

・少子高齢化に伴い、町内会も縮小傾向になっていくかと思われるので、新たな対策を考えなくてはいけないと感じる。
・町内会が行っていることと行政が行っていること、どういう分け方をしているのか明確に理解できるツール等が欲しい。
・サイトにあるタウンワークなどのように、北海道の地域を選択する場所があって、して欲しいこと・時間・場所・報酬・募集人数などを掲載した方が、

分かりやすくて良いかなと思う。市ごとにサイトを作るのではなく、まとめた方が探しやすくなるので、まとめた方が良いと思う。また、中学・高校・大学などでそういうサイトがあること・地域活動・町内会の活動について知る機会が欲しい。

≪仕組みやシステム案について　36 件≫

・町内会に関する情報は SNS などよりもチラシで配られるなどの直接的な情報が良い。地域のご高齢のお宅の除排雪を部活の一環として中高生にやってもらうことを市から積極的に呼びかける。地域の除排雪状況を HP や SNS, アプリなど、リアルタイムで確認できる制度が欲しい。

・仕事で忙しい世代が、報酬のないボランティア的活動をするのは難しいと考える。このアンケートを通して、町内会でどのような活動を現在行っているのかわからないと、そもそも参加しようとは思わない。明確なメリットがあれば、助け合いの精神と思えるようになるのかも知らないが、私には分からない。小さい子どもや若者が参加したいと思えるイベントは広報の一つになると思う。

・目的、指示が明確であること、粗品（ジュース、水等、震災用保存食等）があることが必要だと思う。40 以上の人が多いと若者は参加しづらい（愛想笑いが多くなる）ので小～高校の人達もいるとうれしい。

≪その他　18 件≫

・マンションで町内会費を徴収しているからと言って、町内会に入る拒否権がないのはおかしいと思う。昔からの風習や暗黙の了解は時代のニーズに合っていないと思う。法律で定めて欲しい。

・町内会毎によってそれぞれ使える予算が違うので、活動を広げたくても思うようにできない地域もあると思う。特に若者が少なく高齢者の多い地域は出来る活動に限りがあるなと感じる。

（６）回答者の属性について

問 13　最後にあなたご自身のことについておたずねします。

・あなたの性別は

回答総数 701 件の内、「男性」が 49.4%、「女性」が 49.2%となっている。

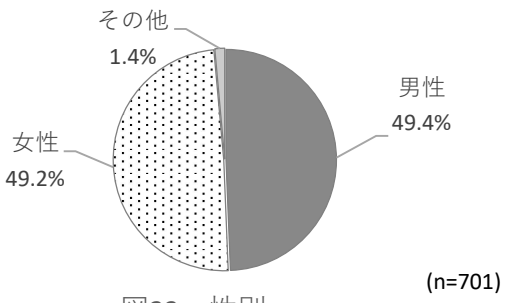


図23　性別

・あなたの年齢は（令和５年 12 月６日時点）

回答総数 701 件の内、「19 歳」が 11.4%、「28 歳」が 10.8%、「29 歳」が 10.6%となっている。

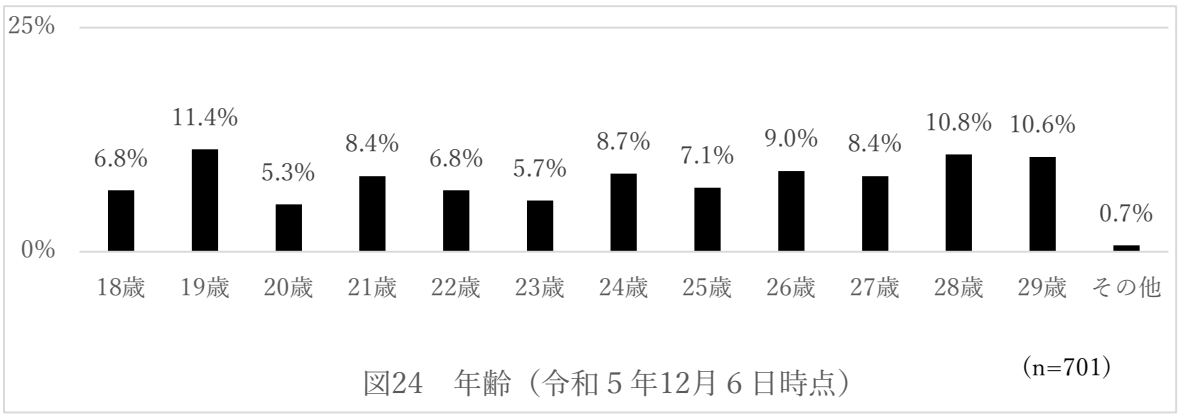


図24　年齢（令和５年12月６日時点）

・あなたは現在、何区にお住まいですか
回答総数 701 件の内、「北区」が 17.4%、「中央区」が 14.3%、「東区」が 13.3%となっている。

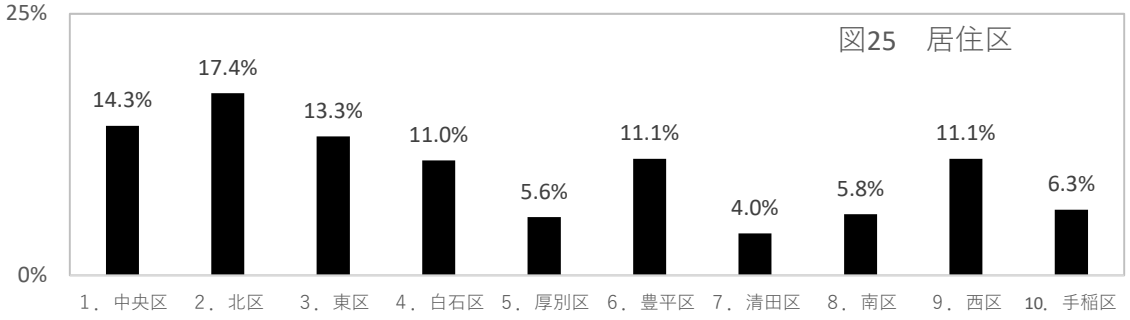


図25　居住区

（n=701）

・あなたはどのようなお立場の方ですか。
回答総数 701 件の内、「会社員・公務員」が 49.6%、「大学生」が 19.8%、「パート・アルバイト」が 8.7%となっている。

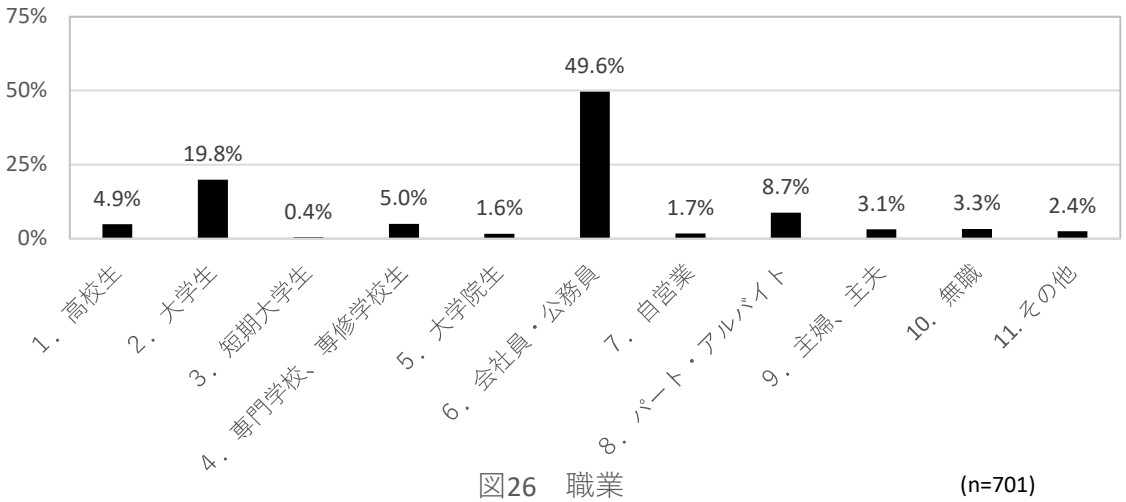
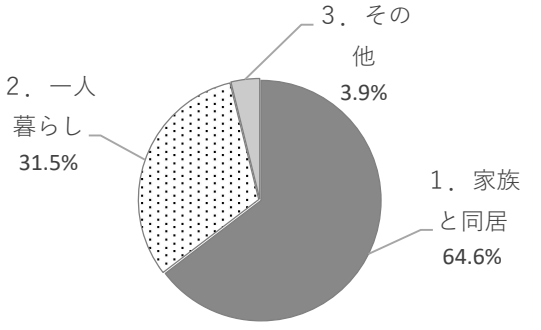


図26　職業　(n=701)

・あなたの世帯の状況は
回答総数 701 件の内、「家族と同居」が 64.6%、「一人暮らし」が 31.5%、となっている。



(n=701)

図27　世帯

・あなたのお住まいの形態は

回答総数 701 件の内、「集合住宅（アパート、マンション等)」が 69.3%、「戸建住宅」が 29.8%となっている。

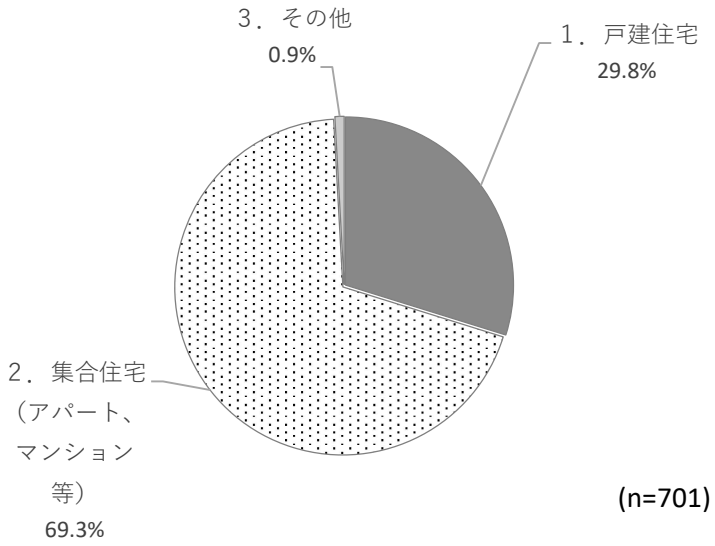


図28　居住形態

・あなたの札幌居住年数は

回答総数 701 件の内、「20 年以上～30 年未満」が 30.0%、「10 年以上～20 年未満」が 24.0%、「１年以上～３年未満」が 16.3%となっている。

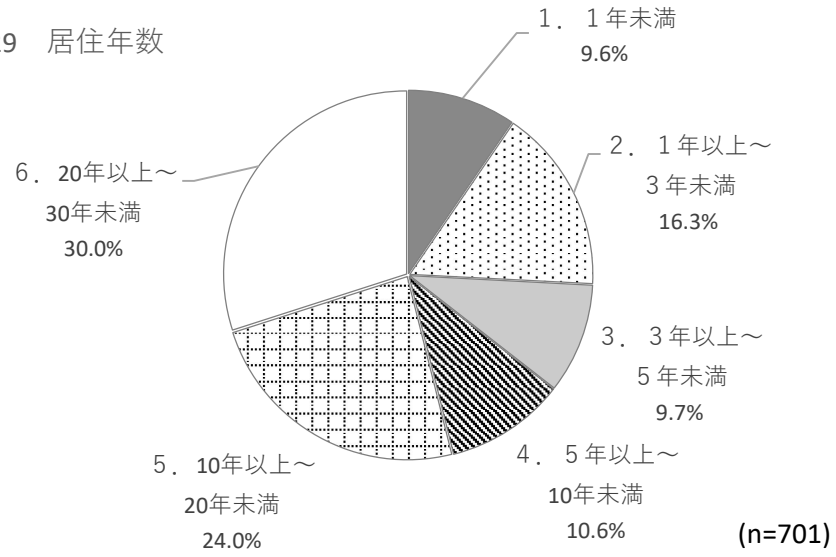



図29　居住年数